

# 市長から市民のみなさんへ

90

山形県厚田市長 白井 博文

## 「子ども市議会」が開催されました

2月4日、「一日市議会議員」に任命された市内の小学6年生を招いて、「子ども市議会」が開催されました。詳しくは14ページからの記事でお知らせしていますが、壇上で行われた「一般質問」は、内容もさることながら、小学生らしからぬ「歯切れの良さ」がたいへん印象に残りました。

その「一般質問」では、主に「学校周辺の施設整備」と「図書館の充実」の2点がとりあげられました。問題点の指摘を受けて、通学路や校区の公園の整備など、いますぐ取りかかれるものには着手する予定です。一方、図書館の充実の要望に対しては、予算を削ってきた身としては、申し訳ない気持ちでいっぱいですが、携帯電話、テレビゲームといった活字離れがすすむ中で、子どもたちの関心が本に向いていることについて素直にうれしく思います。児童からの切実な願いを叶えるためにも、教育委員会、図書館とともに本に親しむことができる環境づくりをすすめていきたいと思えます。

議場で堂々とふるまい、豊かな表現力で問題点を鋭く指摘する子どもたちを、市長として誇りに思います。伸び伸びと成長され、やがてふるさとの役に

立つ人材になっていただきたいと強く願います。

## 広報紙の内容をご確認ください

毎月2回、発行されている広報「さんようおのだ」には、市から市民のみなさんにお知らせしなければならない情報が集約されています。何かとお忙しいとは思いますが、お宅に届いた際は、各ページに目を通していただきたいと改めてお願いします。

例えば、市が策定する各種計画については、その策定の過程において、地域懇談会、意見の公募など、広報紙を通じて広く市民のみなさんに呼びかけているのですが、最近は関心を持っていただいている方が少ないようです。確かに対象となる計画案は、ページ数も多く、難しい用語が使われる傾向は否めませんが、市民生活に関連し、未来のまちづくりの方向性を示すものばかりです。多くの市民のみなさんに参加していただき、作り上げる計画はその過程こそが「市民参加」の大きな意義を持っていることは私が常々、お話ししているとおりです。

インターネットをはじめ様々な情報が氾濫する昨今ですが、身近な市の情報が掲載されている広報紙の役割はまだまだ大きいものと考えます。今一度、内容に留意していただくことを希望します。



新幹線開業

10



周年記念行事

同時開催

「市民ふれあいの集い」

「ねたろうの里 おひなさまめぐり」

新幹線厚狭駅が開業して、3月で10周年を迎えます。これを記念して、厚狭駅周辺で関連行事を開催します。詳細は、3月1日に配布されるチラシをご覧ください。なお、「市民ふれあいの集い合併4周年記念行事」と「ねたろうの里おひなさまめぐり」も同時開催します。たくさんの方のご来場をお待ちしています。【問い合わせ先】商工労働課（☎82-1151）

## 「新幹線開業10周年記念行事・市民ふれあいの集い」

【日時】 3月14日(土) 10:00～15:00

【場所】 厚狭駅新幹線ロータリー（厚狭駅南口）

## 「ねたろうの里おひなさまめぐり」

【日時】 3月1日(日)～22日(日)

【場所】 厚狭駅商店街

※3月14日は各種イベントを予定しています。

